

# 渥美国際交流奨学財団 2010 年度事業報告

## ■ 留学生の奨学事業

### ➤ 奨学金支給

- (1) 渥美奨学金の支給：2010 年度渥美奨学生 12 名に月額 20 万円を支給  
(ソウル面接枠採用者 1 名は 9 月から支給)

### <2010 年度博士号取得者>

#### 2010 年度奨学生

- ①□ 崔 禎恩 (韓国) 東京藝術大学 博士 (文化財保存学)  
韓国国立民俗博物館研究員 (在ソウル)
- ②□ 李 賢凡 (韓国) 東京工業大学 博士 (材料工学)  
東京工業大学ポスドク研究員
- ③□ 蘆 亮 (中国) 東京工業大学 博士 (原子核工学)  
理化学研究所外国人特別研究員
- ④□ 王 昕 (中国) 東京医科歯科大学 博士 (先端医療開発学)  
東京都立産業技術研究センター研究員

#### 2006 年度奨学生

- ⑤□ 梁 蘊嫻 (台湾) 東京大学 博士 (比較文化)  
淡江大学日本語文学系非常勤講師 (在台北)
- ⑥□ 孫 軍悦 (中国) 東京大学 博士 (言語情報科学)  
東京大学教養学部講師

- (2) 博士号取得者の海外学会参加者奨学金 ⇒ 年報

- ①□ ダルウィッシュ ホサム (シリア出身、2009 年度奨学生)  
所属：東京外国語大学大学院 総合国際学研究科研究員  
参加学会：中東学会世界大会 (バルセロナ、スペイン)  
参加日時：2010 年 7 月 16 日～27 日
- ②□ キムチャヤラシー プアン (カンボジア出身、2008 年度奨学生)  
所属：在プノンペン、カンボジア  
参加学会：国際バイオ化学シンポジウム (リミニ、イタリア)  
参加日時：2010 年 9 月 13 日～19 日

③□ ネメフジャルガル（中国出身、2008年度奨学生）  
 所属：内モンゴル大学モンゴル学研究センター研究員  
 参加学会：モンゴル民族文化基金第20回学術交流会（東京）  
 参加日時：2010年12月14日～22日

④□ 高 熙卓（韓国出身、2000年度奨学生）  
 所属：延世大学政治外交学科学研究教授  
 参加学会：アジア学会（ハワイ、アメリカ）  
 参加日時：2011年3月29日～4月4日

(3) 元奨学生を対象とした継続支援奨学金

当該年度は適用なし

➤ 募集選考

(4) 2011年度第17期奨学生12名の募集・選考

7月 1日 博士課程のある関東地方の134大学の担当課、事務局、ホームページ上で募集要項を配布開始  
 9月 1日 応募受付開始  
 30日 応募締め切り（41大学18ヶ国・地域より130名応募）  
 9月下旬～ 第一次書類選考応募書類の15項目を数値化し、コンピューター処理 <60名に>  
 10月 9日 第二次書類選考会（選考委員：嶋津、シム、李恩民、全振煥） <30名に>  
 10月 21日 予備面接（10月27日まで）（面接者：嶋津、今西） <20名に>  
 11月 27日 最終選考会（書類審査と面接） <11名を決定>

選考委員会の構成

委員長	畑村 洋太郎	東京大学名誉教授・畑村創造工学研究所	産業機械工学
委員	井上 博允	東京大学名誉教授・元日本学術振興会	電子情報工学
委員	片岡 達治	元癌研究会	薬学
委員	佐野 みどり	学習院大学教授	日本美術史
委員	田村 次朗	慶應義塾大学教授	法学
委員	平川 均	名古屋大学教授	経済学

(5) 北京・ソウル面接枠の募集・選考

- 5月下旬 北京周辺の大学院日本語研究科と日本研究所（9か所）、ソウル周辺の大学院日本語研究科（15カ所）に募集要項を送付。ラクーンネットで通知。国際交流基金北京日本文化センターより北京の研究所や大学に通知。
- 6月1日より、渥美財団のホームページに募集要項を掲載。  
 募集期間：2009年7月1日（水）～8月20日（木）  
 北京枠に1名、ソウル枠に5名応募あり。もう1名のボストン大学からソウル面接枠への応募者は、9月より東大へ留学予定なので東京面接枠へ振替。

- ・ 8月26日（木）事務局による第一次書類審査。ソウル面接枠応募者のうち2名が書類選考に合格し、ソウルで面接することに決定。
- ・ 9月25日（土）面接（ソウル面接枠）：ソウル市内の Somerset Palace 会議室にて
- ・ 9月25日（土）選考会（ソウル面接枠）：応募者1名の採用を決定。他の1名も大変優秀なので、東京の最終面接へ招待。
- ・ 11月27日（土）渥美財団選考会でソウルから招待した1名の採用も決定。
- ・ 12月 東京面接枠の合格者と一緒に通知

○選考委員会の構成

選考委員		書類審査	面接審査
今西淳子	渥美財団常務理事	全応募者	全応募者
嶋津忠廣	渥美財団事務局長	全応募者	—
金 雄熙	仁荷大学国際通商学部副教授	ソウル枠応募者 2名	ソウル枠応募者 2名
李 香哲	光云大学日本学科教授	ソウル枠応募者 2名	ソウル枠応募者 2名

➤ 交流事業

(6) 奨学生との交流事業

毎月の交流会

- 4月 2日 食事会（日中友好会館豫園）
- 5月 6日 個別面談（11日まで）
- 6月 2日 役員を交えての親睦会（理事会・評議員会後、鹿島K I ビル）
- 7月 2日 蓼科旅行（4日まで）⇒年報
- 7月 21日 見学会（東京国際空港 D 滑走路新設工事現場）⇒年報
- 8月 31日 個別面談（9月6日まで）
- 10月 4日 食事会（柿安三尺三寸箸）
- 11月 5日 渥美奨学生の集い 講演：法政大学教授 王敏様⇒年報
- 11月 29日 個別面談（12月3日まで）
- 1月 15日 新年会⇒年報
- 2月 1日 個別面談（8日まで）
- 3月 5日 研究報告会 ⇒年報
- 3月 23日 最終食事会（京王プラザホテル）

(7) ラクーン会を世界各地で開催 ⇒年報

- 4月 17日 ソウル 第13回韓国ラクーン会（KSR）（南基正、李香哲、金宰晟、高熙卓、韓京子、李垠庚、崔恩碩、今西）
- 5月 1日 北陸（李鋼哲、朴貞姫、周海燕、今西）
- 5月 14日 ポストン（王岳鵬、朴榮濬、孟子敏、王健歡、今西）
- 9月 14日 北京（高見邦雄様（ゲスト）、金熙、孫建軍、朴貞姫、劉健、石井、今西）
- 9月 25日 ソウル 第14回韓国ラクーン会（KSR）（南基正、金雄熙、李香哲、洪京珍、高熙卓、李垠庚、韓京子、今西）

## ■ 留学生を通じた交流事業【公2】（公益目的事業2）

➤ ネットワーク事業：関口グローバル研究会（SGRA）の活動

### （8）国内における研究交流活動

- 第38回フォーラム in 蓼科「Better City, Better Life：東アジアにおける都市・建築のエネルギー事情とライフスタイル」  
日 時：2010年7月3日（土）  
会 場：東京商工会議所 蓼科フォーラム大会議室  
担 当：高偉俊（環境とエネルギー研究チーム）  
\*北九州市立大学主催、SGRA 共催。日本学術振興会若手研究者交流支援事業の一環として受託。東京商工会議所協力。
- 第39回フォーラム 「ポスト社会主義時代における宗教の復興」  
日 時：2010年10月16日（土）  
会 場：東京国際フォーラムガラス棟会議室  
担 当：エリック・シッケタンツ（宗教と現代社会研究チーム）
- 第40回フォーラム「東アジアの少子高齢化問題と福祉」  
日 時：2011年3月6日（日）  
会 場：東京国際フォーラムガラス棟会議室  
担 当：李鋼哲（構想アジア研究チーム）

### （9）海外拠点における研究交流活動

①日中プロジェクト：日本の民間公益事業を紹介する講演会を、毎年秋到北京の大学とその他の地方の大学で開催。同時通訳付き。

- 第5回チャイナフォーラム 「中国の環境問題と日中民間協力」  
A) 2010年9月13日（月）、内モンゴル大学（担当：ネメフジャルガル）  
⇒SGRA ニュース（2010年10月20日）第5回 SGRA チャイナフォーラム in フフホト「中国の環境問題と日中民間協力：地下資源開発を中心に」報告  
B) 2010年9月15日（水）、北京外国語大学（担当：宋 剛）  
⇒SGRA ニュース（2010年11月3日）第5回 SGRA チャイナフォーラム in 北京「中国の環境問題と日中民間協力：北京の水問題を中心に」報告  
⇒SGRA レポート No.56「中国の環境問題と日中民間協力」2011年5月発行予定  
\*内モンゴル大学モンゴル学研究センターおよび北京外国語大学日本語学科の協力、国際交流基金北京文化中心より内モンゴル大学へ助成。

②日韓プロジェクト：韓国未来人力研究院と渥美財団 SGRA の共同プロジェクト。毎年日韓交互に研究者を招待してフォーラムを開催。（担当：金 雄熙）

- 第10回日韓アジア未来フォーラム「1300年前の東アジア地域交流」

日 時：2011 年 2 月 19 日（土）

会 場：奈良県新公会堂

⇒SGRA エッセイ#282「1300 年前の東アジア地域交流とエスノセントリズム」（2011 年 3 月 9 日配信）

⇒SGRA レポート No.59「1300 年前の東アジア地域交流」編集中心

\*実行委員会の主催、韓国未来人力研究院と SGRA の共催。奈良県および奈良市の後援。  
実行委員会より受託。

③SGRA 日比共有型成長セミナー：SGRA フィリピンとフィリピンの大学との共同プロジェクト。  
(担当：マックス マキト)

- 第 12 回共有型成長セミナー「共有型成長と環境：フィリピン都市道路交通を事例として」

日 時：2010 年 4 月 28 日（水）

会 場：アジア太平洋大学会議室（フィリピン、マニラ）

⇒SGRA エッセイ#249「マニラ・レポート 2010 春」（2010 年 6 月 9 日配信）

- 第 13 回共有型成長セミナー「農村と都会における貧困コミュニティ」

日 時：2010 年 12 月 17 日（金）

会 場：フィリピン大学 SOLAIR 会議室（フィリピン、マニラ）

⇒SGRA エッセイ「マニラ・レポート 2011 冬」（2011 年 4 月配信予定）

④ウランバートル日モ国際シンポジウム：モンゴルの研究機関とウランバートルにてシンポジウムを  
共催。(担当：ボルジギン フスレ)

- 第 3 回ウランバートル国際シンポジウム「日本・モンゴルの過去と現在：20 世紀を中心に」

日 時：2010 年 9 月 9 日（木）～11 日（土）

会 場：日本モンゴル人材開発センター（モンゴル、ウランバートル）

⇒SGRA エッセイ#274「ウランバートル・レポート 2010 年秋」（2010 年 12 月 15 日配信）

⇒『首都タイムズ』等の新聞、MNB、TV9 等モンゴル国のテレビ局により報道された。

また下記の通り出版。

- ・ 論文集 *Mongolia – Japan in the Past and the Present: Focusing on the 20th Century*,  
Bembii san 社, Ulaanbaatar, 2011.

- ・ 「第 3 回ウランバートル国際シンポジウム“日本・モンゴルの過去と現在——20 世紀を中  
心に”報告」『日本モンゴル学会紀要』第 41 号、2011 年 3 月。

- ・ 「ウランバートル・レポート 2010 年秋」『日本とモンゴル』第 45 巻第 2 号、2011 年 3 月。

\*モンゴル科学アカデミー歴史研究所、モンゴル国立教育大学歴史と社会科学学部と共同主催。

双日国際交流財団より SGRA へ助成。国際交流基金より歴史研究所へ助成。

在モンゴル日本大使館後援、モンゴル日本人材開発センター協力。

(10) SGRA レポートの発行

- 第 54 号「エリート教育は国に『希望』をもたらすか：東アジアのエリート教育の現状と課題」  
(第 37 回 SGRA フォーラム講演録) 2010 年 5 月 10 日発行

- 第 55 号「「Better City, Better Life: 東アジアにおける都市・建築のエネルギー事情とライフスタイル」(第 38 回 SGRA フォーラム in 蓼科講演録) 2010 年 12 月 15 日発行
- 第 58 号「鹿島守之助とパン・アジア論への一試論: Dr. Morinosuke Kajima and Pan-Asianism」投稿論文(日本語・英語合冊版) 2011 年 2 月 15 日発行

◇ 以下は編集中

- 第 60 号「東アジアの少子高齢化問題と福祉」(日本語のみ)
- 第 59 号「1300 年前の東アジア地域交流」(日本語版)
- 第 57 号「ポスト社会主義時代の宗教の復興」(日本語のみ)
- 第 56 号「中国の環境問題」(日本語版) ⇒ 2011 年 5 月発行予定

#### (1 1) SGRA レポートの多言語化

SGRA レポートを英語、中国語等に翻訳し日本語版と合冊で出版、あるいは単独でウェブ出版する。

- 第 58 号「鹿島守之助とパン・アジア試論」(日本語・英語合冊) 2 月 15 日発行

◇ 以下は翻訳・編集中(ウェブ出版の予定)

- 第 59 号「1300 年前の東アジア地域交流」(韓国語版) 翻訳中
- 第 56 号「中国の環境問題」(中国語版) 翻訳・校正終了
- 第 55 号「Better City, Better Life」(英語版) 翻訳終了
- 第 52 号「東アジアの市民社会」(中国語版) 翻訳終了
- 第 52 号「東アジアの市民社会」(英語版) 翻訳中
- 第 50 号「日韓の東アジア地域構想と中国観」(英語版) 翻訳・校正・レイアウト終了

#### (1 2) SGRA かわらばんの配信

メールマガジン「SGRA かわらばん」の発行

SGRA フォーラム等のお知らせと、世界各地からの SGRA 会員のエッセイを、毎週水曜日に電子メールで発信(購読者数: 1124 名)

#### (1 3) JAANUS(英文による日本建築・美術用語のオンライン辞書)のテクニカルサポート。

<http://www.aisf.or.jp/~jaanus/>

### ■公益目的事業の基盤整備

#### (1 4) サーバーとホームページの管理運営

渥美財団: <http://www.aisf.or.jp>

関口グローバル研究会: <http://www.aisf.or.jp/sgra/>

#### (1 5) 募金活動

- ① 書面による SGRA 活動賛助寄附依頼(5 月~9 月)

- ② 奨学事業への賛助企業・寄附者を訪問依頼（11月～12月）
- ③ SGRA フォーラムの開催等のための助成金申請、賛助寄附募金

（16）年報とパンフレットの発行

2009年度年報を発行（6月の理事・評議員会で配布）  
新法人のパンフレットを作成・発行

（17）協議会、研究会、学会など

- ① 留学生奨学団体連絡協議会（JISSA）
- ② 特定非営利法人 国際教育交流研究会（JAFSA）
- ③ 日本留学生宿舎財団法人協議会
- ④ 公益財団法人 助成財団センター
- ⑤ 留学生教育学会（JAISE）
- ⑥ 公益財団法人 公益法人協会